



多賀城市のみなさんが、義援金を届けてくれたドイツ・パッサウ市へ“ありがとう”(8月6日)

## 希望の光、灯る ～被災地からの手紙～

今年の竿燈まつりにご招待した宮古市、釜石市、多賀城市、そして秋田県内の避難者のみなさんから、わたしたち秋田市民への感謝の言葉が綴られた手紙が多数届きました。「竿燈が被災者の希望の光になれば」という思いでお招きしたのですが、いただいた手紙を読んでいると、「光が灯ってくれたのだな」と強く感じました。すべてはご紹介できませんが、今回は、その中から多賀城市のみなさんからの手紙の一部をご紹介します。また、今回の招待事業にご協力いただいたみなさんに改めて感謝申し上げます。



まり、半月も水汲みに走ったり、買い物に何時間も並んだり、大変な思いをしました。竿燈やその他楽しいイベントのおかげで身も心もすっかり安らぎました。忘れられない夏になったと思います。

秋田のみなさん、本当にありがとうございました(山王小学校の児童から)

このたびは秋田の竿燈まつりにご招待してくれてありがとうございました。3月11日、ぼくは学校で授業を受けている途中で地震がきて外に逃げました。みんなパニック状態

でした。その中、津波警報が出てすごく大変でした。その日は学校に泊まりました。布団も無くジャンパーを布団代わりにして寝ました。でも、余震もくるのでなかなか眠れませんでした。次の日、市役所に行ったけど、まともなごはんは食べられませんでした。そし

て城南小学校の体育館にも行ったりなどいろいろな所に行かなければならなくなりました。ぼくの家は津波のせいで電化製品は全部使えなくなりました。こういうことがあります。落ち込みました。でもこの秋田竿燈まつりで元気をもらいました。これからも頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました

(八幡小学校の児童から)

8月6日・7日は秋田にご招待いただきありがとうございました。ぼくたちは3月11日、東日本大震災で大きな地震と津波があつてとてもつらい経験をしました。寒い夜と空腹、そして余震：とてもつらかったです。ぼくの家も大切な物がたくさん流されました。最初はとてもつらく「どうしてなるんだろう」と涙が出てきてしまったこともありました。でも秋田に行けることが分かった時、とてもわくわくしました。秋田に向かうバスの中はにぎやかでとても楽しい気持ちになりました。

秋田に着いた時、中学生のお兄さんお姉さんが迎えてくれて杉の木で作ったメッセーじ入りのプレゼントをもらいました。杉の木の話をしてもらって、しおりを大切にしようと思いました。その後、市長さんの話を聞いて、頑張ろうと思いました。夕食に食べたきりたんぼ鍋はとてもおいしかったです。たくさん食べておなかいっぱいになり

ました。その後竿燈まつりを見に行きました。小さな子どももお祭りに参加してびびくりしました。竿燈を手やおでこ、腰で操る男の人たちはすごいなと感動しました。ぼくたちも頑張ろうと思いました。ぼくたちはみなさんに励まされ、力をもらっているのだな、と感じました。ほんとにありがとうございました。ぼくたちはこれからも頑張っていきたいと思

います(鶴ヶ谷サツカースポーツ少年団の児童から)

一番すごかったのは秋田竿燈まつりでした。ぼくは最初「できるかなあ」と思いましたが、持つてみようとしたら重くて持つこともできませんでした。持つてくる人は半年、1年くらい練習しているのかなと思ひ、感動して見ました。竿燈まつりに出たみなさん、バスでアドバイスしてくれたみなさん、ありがとうございました

(天真小学校の児童から)

竿燈まつりへの招待ありがとうございました。心の底から興奮し、感動させていただきました。私の会社も津波に流され、再起不能とも思われましたがなんとか再開しております。祭りの感動、みなさまの応援を胸に今後も頑張ります。本当にありがとうございました(天真小学校の児童のご家族から)



元気にアタック！

## 被災地の児童と バレーボールで交流

9月10日、秋田市小学生バレーボール連盟が東日本大震災で被災した宮城県の小学生約40人を招き、秋田市の児童とバレーボールの交流試合を行いました。会場の雄和体育館では、児童たちが元気いっぱいのプレーに汗を流しました。



最優秀賞の佐藤さん(左)と長谷部さん

## 平和へのメッセージ 入賞作品が決定

平和の尊さ、大切さについて理解を深めるため、市内の小・中学生から「平和へのメッセージ」を募集しました。64作品の応募があり、下記のみなさんが入賞しました。最優秀賞の佐藤壘さん(泉小)と長谷部匠さん(泉中)には、9月5日に開催した「秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典」でメッセージを朗読してもらいました。

地域福祉推進室 ☎(866)2090

小学校の部(敬称略)

- 最優秀賞** 佐藤 壘(泉小)
- 優秀賞** 三浦友梨乃(高清水小)
- 佳作** 野呂遥佳(川尻小) 菅原優倫・村岡亜海(港北小) 佐々木恵美・関向美沙希・渡邊篤弥(高清水小) 大関羅捺・神谷凌伍・高坂健司(土崎小) 田辺真歩(土崎南小)

中学校の部(敬称略)

- 最優秀賞** 長谷部 匠(泉中)
- 優秀賞** 川村ほのか(土崎中)
- 佳作** 佐渡暁太郎(泉中) 阿部悠花・五十嵐彪秀・高坂美賀・小玉愛莉・佐藤百茄・土田彪大・能登屋奈美(将軍野中)

秋田はすてきな所でした。竿燈まつり、初めて見させていただきましたがすばらしかった。秋田の夏の夜空に揺れる竿燈の光。まるで、秋の金色に輝いて風に揺れる稲穂が私の目の前に広がっているように見えて驚きました。「がんばれ東北」の文字に涙が出ました。うれしかった、ありがたかった。応援してくれている人がいる強さ、大変なこと分かってくれている、支えてくれている人たちがいる。すごく秋田に行つて伝わってきました。3月11日のあの地震と津波から私の生活はすっかり変わってしまいました。今までそこにあつた生活がすべてなくなつて私も母も涙が出ました。だけどもおばあさんは泣いていませんでした。「涙も出ない。最初は何をどうしたらいい

のか分からなかつたけど、今は泣いているひまはない。片付けることに必死だ」と話していました。「生きていられるだけでありがたいんだ」と。被害の大きさは少しずつ違うけど、心に受けた心の傷はみんな同じなのだと思つてます。そして何より、みんな一人ひとり助け合うその心が強くなつていて思いました。「負けない。頑張れる」。秋田の人たちはあつたかかつたです。ババヘラアイスのおばさんがバラの花のようにおまけしてくれて「頑張れ、頑張れ、大丈夫」と言つてくれたこと、うれしかったなあ。「おばちゃん、私たち負けないよ」。私はこの旅行で人とのふれ合いの大きさ、すばらしさをたくさん感じることができました。「大丈夫、頑張れる」。そう思える力、勇気、たくさんもらつてきました。参

加できて本当によかつたです。もう少し経つてすべてが落ち着いたら秋田へもう一度行きたいです。そして秋田のみなさんに「ありがとうございました」とお礼を言いたいです。本当にすてきな秋田の旅行をプレゼントしてください。ありがとうございます

(天真小学校の児童から)

8月6日・7日に1泊2日のご招待ありがとうございました。私は竿燈まつりを初めて見ました。重い提灯を片手で上げていてすごかつたよかったです。それに自分の目の前に提灯が倒れてきそうになり、とてもスリルがあつて良かつたと思います。私は、おじいちゃんとおばあちゃんと友だちと私で「毎年行こうね」という約束をしました。だから毎年行きたいと思つてい

ます。今回はすごい体験ができて良かつたと思います。これからも学校の勉強の方も頑張りたいです

(東豊中学校の生徒から)

秋田竿燈まつりへ招待していただき本当にありがとうございました。3月11日の東日本大震災から何ヶ月か経ち、少しずつではありますが震災前の生活に戻つてきています。しかし、ふつと周りの風景を見ると、がれきの山や道路の亀裂、渡れないか所など、まだまだ、震災の傷跡が見られます。しかし、前を向いて歩いて行こうと頑張つているところで、今回の秋田竿燈まつりの、あの一人ひとりの技や頑張りの、すごい熱いものを感じさせてくれるお祭りでした。本当にありがとうございました。(東豊中学校の生徒から)